

10/19/36

DIALOG(R)File 347:JAPIO

(c) 2004 JPO & JAPIO. All rts. reserv

04610808 **Image available**

COMMUNICATION TICKET ISSUING MACHINE

PUB. NO.: 06-282708 [JP 6282708 A]

PUBLISHED: October 07, 1994 (19941007)

INVENTOR(s): KOBAYASHI TAKASHI

HOSHI TAKASHI

APPLICANT(s): TOSHIBA CORP [000307] (A Japanese Company or Corporation), JP

(Japan)

APPL. NO.: 05-065809 [JP 9365809]

FILED: March 25, 1993 (19930325)

INTL CLASS: [5] G07B-001/00; G06F-015/21; G07B-005/00

JAPIO CLASS: 29.4 (PRECISION INSTRUMENTS -- Business Machines); 45.4 (INFORMATION PROCESSING -- Computer Applications)

JAPIO KEYWORD: R098 (ELECTRONIC MATERIALS -- Charge Transfer Elements, CCD &

BBD); R131 (INFORMATION PROCESSING -- Microcomputers & Microprocessors)

JOURNAL: Section: , Section No. FFFFFFFF, Vol. 94, No. 10, Pg.

FFFFFFF,

FF, FFFF (FFFFFFFFF)

ABSTRACT

PURPOSE: To provide the communication ticket issuing machine which can properly and speedily issue a communication ticket by easily confirming the described contents of an application form without pulling the application form out of a name transfer part and by easily comparing the described contents of the application form with input data as well.

CONSTITUTION: The communication ticket is issued according to the input data from a clerk corresponding to the described contents of an application form 30, the image data of a name part are read from the application form 30 to be set to a name transfer part 5, and those image data are transferred to the communication ticket to be issued. Especially, the image data of the entire application form 30 to be set to the name transfer part 5 are read by an application form reading part 6, and those read image data are displayed on the same display screen of a CRT display part 7 together with the input data from the clerk.

EC
202

This Page Blank (uspto)

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-282708

(43)公開日 平成6年(1994)10月7日

(51)Int.Cl. ⁵	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 7 B 1/00	B	8111-3E		
G 0 6 F 15/21	B	8724-5L		
G 0 7 B 5/00		8111-3E		

審査請求 未請求 請求項の数 4 O L (全 5 頁)

(21)出願番号 特願平5-65809

(22)出願日 平成5年(1993)3月25日

(71)出願人 000003078

株式会社東芝

神奈川県川崎市幸区堀川町72番地

(72)発明者 小林 幸

神奈川県川崎市幸区柳町70番地 株式会社

東芝柳町工場内

(72)発明者 星 敬

神奈川県川崎市幸区柳町70番地 株式会社

東芝柳町工場内

(74)代理人 弁理士 鈴江 武彦

(54)【発明の名称】 定期券発行機

(57)【要約】

【目的】 氏名転写部から申込み用紙を抜き取ることなく、申込み用紙の記載内容を容易に確認することができ、しかも申込み用紙の記載内容と入力データとを簡単に比較することができ、間違いのない適正かつ迅速な発行を可能とする定期券発行機を提供する。

【構成】 申込み用紙30の記載内容に応じた係員からの入力データに従って定期券を発行し、かつ氏名転写部5にセットされる申込み用紙30から氏名部分の画像データを読取り、それを発行定期券に転写するものであって、特に、氏名転写部5にセットされる申込み用紙30の全体の画像データを申込み用紙読取部6で読取り、その読取った画像データを係員からの入力データといっしょにCRT表示部7の同一画面に表示する。

71		72
通勤 大人 3ヶ月 No.000001		
東京 → 川崎		
経由 —		
期間 平成5年4月1日 より 平成5年6月30日		
運賃 ¥XXXXXX 円		
氏名	山田 太郎	
住所	電話 ()	
勤務先	電話 ()	
区間	東京 → 川崎	
理由	(通勤) ・ 通学	
	(大人) ・ 小人	
期間	平成5年4月1日より 平成5年6月30日まで	

EC
102

【特許請求の範囲】

【請求項1】 申込み用紙の記載内容に応じた入力データに従って定期券を発行する定期券発行機において、前記氏名転写部にセットされる申込み用紙の全体の画像データを読取る読取手段と、この読取手段で読取られる画像データを前記入力データとともに表示する表示手段とを備えたことを特徴とする定期券発行機。

【請求項2】 表示手段は、入力データと画像データを同一画面に並べて表示することを特徴とする請求項1記載の定期券発行機。

【請求項3】 申込み用紙の記載内容に応じた入力データに従って定期券を発行し、かつ氏名転写部にセットされる申込み用紙から氏名部分の画像データを読取り、それを発行定期券に転写する定期券発行機において、前記氏名転写部にセットされる申込み用紙の全体の画像データを読取る読取手段と、この読取手段で読取られる画像データを前記入力データとともに表示する表示手段とを備えたことを特徴とする定期券発行機。

【請求項4】 表示手段は、入力データと画像データを同一画面に並べて表示することを特徴とする請求項3記載の定期券発行機。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 この発明は、たとえば交通機関で使用する定期券を発行する定期券発行機に関する。

【0002】

【従来の技術】 定期券を購入する場合、利用者は駅に備え付けの申込み用紙に必要事項を記入し、それを係員のいる窓口差し出す。係員は申込み用紙の記載内容を見ながら操作部を操作し、乗車区間、利用期間、通勤/通学、大人/小人などのデータを入力するとともに、申込み用紙を氏名転写部にセットする。

【0003】 データの入力が完了すると、その入力データに従って定期券が発行されるとともに、氏名転写部にセットされている申込み用紙の氏名部分が画像データとして読取られ、それが発行定期券に転写される。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】 申込み用紙が氏名転写部にセットされた後では、申込み用紙を氏名転写部から抜き取らない限り、申込み用紙の記載内容を見ることができない。このため、データ入力に間違いがあっても、それに気付かないまま定期券が発行されてしまうことがある。

【0005】 また、データ入力が正しいかどうか確認したい場合、あるいはデータ入力の間違いに気付いて再入力を行なう場合、申込み用紙を氏名転写部からいちいち抜き取る作業が必要となり、面倒であるとともに、発券処理の遅れとなる。

【0006】 この発明は上記の事情を考慮したもので、その目的とするところは、氏名転写部から申込み用紙を

抜き取ることなく、申込み用紙の記載内容を容易に確認することができ、しかも申込み用紙の記載内容と入力データとを簡単に比較することができ、間違いのない適正かつ迅速な発行を可能とする定期券発行機を提供することにある。

【0007】

【課題を解決するための手段】 この発明の定期券発行機は、申込み用紙の記載内容に応じた操作者からの入力データに従って定期券を発行し、かつ氏名転写部にセットされる申込み用紙から氏名部分の画像データを読取り、それを発行定期券に転写する定期券発行機において、氏名転写部にセットされる申込み用紙の全体の画像データを読取る読取手段と、この読取手段で読取られる画像データを入力データとともに表示する表示手段とを備える。

【0008】

【作用】 この発明の定期券発行機では、氏名転写部に申込み用紙がセットされると、申込み用紙の全体の画像データが読取られ、その画像データが入力データといっしょに表示される。

【0009】

【実施例】 以下、この発明の一実施例について図面を参照して説明する。

【0010】 図2において、1は定期券発行機で、駅の定期券売場のカウンタ内に設置される。この定期券発行機1には、操作部として、表示入力部2、条件設定部3、および乗車区間設定部4が設けられる。表示入力部2は、購入情報の一部を入力するためのタッチパネルを有する。条件設定部3は、当該発行機の動作に関わる種々の条件を設定するためのものである。乗車区間設定部4には、複数の駅が縦横に配列されている。

【0011】 条件設定部3に隣接して申込み氏名転写部5が設けられる。この氏名転写部5は、CCD等により、用紙挿入口5aにセットされる申込み用紙の氏名記入欄の画像データ（イメージパターンデータ）を読取る。また、氏名転写部5の内部に申込み用紙読取部6が設けられる。この申込み用紙読取部6は、用紙挿入口5aにセットされる申込み用紙の全体の画像データ（イメージパターンデータ）を読取る。

【0012】 乗車区間設定部4の隣にCRT表示部7が設けられ、乗車区間設定部4の上部に客用表示器8が設けられる。CRT表示部7は、操作者（駅の係員）によって入力されるデータを表示したり、申込み用紙読取部6で読取られる画像データを表示する。客用表示器8は、定期券料金や釣り銭を表示する。

【0013】 条件設定部3およびCRT表示部7の隣に定期券発行部9が設けられる。定期券発行部9は、実際に定期券を発行するところで、新規の定期券を発行口9aから出す。

【0014】 この定期券発行部9の上にカード読取部1

0が設けられる。カード読取部10は、挿入口10aに差込まれるクレジットカードや銀行カードの磁気データ(ID番号や暗証番号)を読込む。

【0015】申込み用紙読取部5の横にジャーナルプリンタ11および磁気ディスク装置12が設けられる。ジャーナルプリンタ11は、定期券発売に関する取引結果をジャーナルに印刷する。磁気ディスク装置12は、定期券発行に関する種々のデータたとえば上記取引結果や運賃データを磁気ディスクに記憶する。図3に制御回路の構成を示す。

【0016】主制御部であるCPU20に、メモリ21、通信制御部22、画像処理部23、表示入力部2、条件設定部3、乗車区間設定部4、氏名転写部5、申込み用紙読取部6、CRT表示部7、客用表示器8、定期券発行部9、カード読取部10、ジャーナルプリンタ11、および磁気ディスク装置12が接続される。

【0017】メモリ21は、定期券の発券処理のための制御プログラムや文字パターンを記憶している。通信制御部22は、LAN等の通信回線を使って外部装置との間のデータ伝送を行なう。画像処理部23は、申込み用紙読取部6で読取られる画像データをCRT表示部7の解像度に合わせるべく縮小または拡大の画像処理を行なう。そして、CPU20は、次の主要な機能手段を備えている。

【0018】[1] 申込み用紙読取部6で読取られる画像データを画像処理部23で処理し、それを操作者(係員)からの入力データとともにCRT表示部7の同一画面に並べて表示する表示手段。

【0019】[2] 操作者(係員)からの入力データに従って定期券を発行し、かつ氏名転写部5で読取とられる申込み用紙(図4に示す)の氏名記入欄の画像データを発行定期券に転写する発券処理手段。

【0020】一方、駅の定期券発売所にたとえば図4に示す申込み用紙30が用意される。すなわち、申込み用紙30は、上部から下部にかけて、氏名記入欄、住所記入欄、勤務先記入欄、乗車区間記入欄、経由駅/路線記入欄、通勤/通学の条件指定欄、大人/小人の条件指定欄、および使用期間記入欄を有する。つぎに、上記の構成の作用を図5のフローチャートを参照して説明する。

【0021】定期券の購入者は、申込み用紙30に必要な事項を記入し、それを窓口の係員に差出す。係員は、申込み用紙30の記載内容を見ながら表示入力部2のタッチパネルや乗車区間設定部4の駅卸を操作し、所定のデータを入力する。そして、係員は、申込み用紙30を氏名転写部5の挿入口5aに挿入する。

【0022】挿入口5aに申込み用紙30がセットされると、申込み用紙30の氏名記入欄の画像データが読取られる。同時に、申込み用紙30の全体の画像データが読取られ、それが画像処理部23で画像処理される。

【0023】画像処理部23で画像処理された画像デー

タは、図1に示すように、CRT表示部7の特定領域(右側)72に表示される。CRT表示部7の同じ画面の所定領域(左側)71には、係員の入力データが逐次に表示される。

【0024】このように、CRT表示部7の同一画面に入力データと申込み用紙30の画像データとを並べて表示することにより、係員は、申込み用紙30を氏名転写部5から抜き取ることなく、申込み用紙30の記載内容を容易に確認することができる。とくに、入力データと申込み用紙30の記載内容とを簡単に比較することができるので、入力データの間違いにすぐに気付くことができ、またすぐに訂正することができる。

【0025】CRT表示部7に表示された入力データが満足できるものであった場合、係員は条件設定部3で開始操作を行なう(スタートキーのオン)。すると、入力データに従ってメモリ21から文字パターンが読出され、それが編集および印刷されて新規の定期券が発行される。このとき、氏名転写部5で読取られた画像データ(氏名)が発行定期券に転写される。

【0026】このように、入力データと申込み用紙30の記載内容をCRT表示部7の同一画面で確認しながら定期券の発行を行なうことにより、間違いのない適正かつ迅速な発行が可能である。

【0027】発行された定期券は、発行口9aから排出される。このとき、定期券料金が客用表示器8で表示される。同時に、ジャーナルプリンタ11において取引結果がジャーナルに印字されるとともに、その取引結果が磁気ディスク装置12に記憶される。

【0028】係員は、客用表示器8に表示される定期券料金を購入客から受取り、発行口9aから排出される定期券を購入客に渡すことになる。なお、購入料金の支払いは現金に限らず、挿入口10aに挿入されるクレジットカードや銀行カードによって行なうことも可能である。この場合、取引結果を印刷したレシートが定期券発行部9で定期券と一しょに発行される。

【0029】なお、上記実施例において、申込み用紙30の形態および記入内容に限定はなく、定期券の種類などに応じて適宜に設定可能である。その他、この発明は上記実施例に限定されるものではなく、要旨を変えない範囲で種々変形実施可能である。

【0030】

【発明の効果】以上述べたようにこの発明によれば、氏名転写部にセットされる申込み用紙の全体の画像データを読取る読取手段と、この読取手段で読取られる画像データを入力データとともに表示する表示手段とを備えたので、氏名転写部から申込み用紙を抜き取ることなく、申込み用紙の記載内容を容易に確認することができ、しかも申込み用紙の記載内容と入力データとを簡単に比較することができ、間違いのない適正かつ迅速な発行を可能とする定期券発行機を提供できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 この発明の一実施例におけるCRT表示部の表示例を示す図。

【図2】 同実施例の全体的な構成を示す斜視図。

【図3】 同実施例の制御回路のブロック図。

【図4】 同実施例に関わる申込み用紙の一例を示す図。

【図5】 同実施例の作用を説明するためのフローチャー

ト。

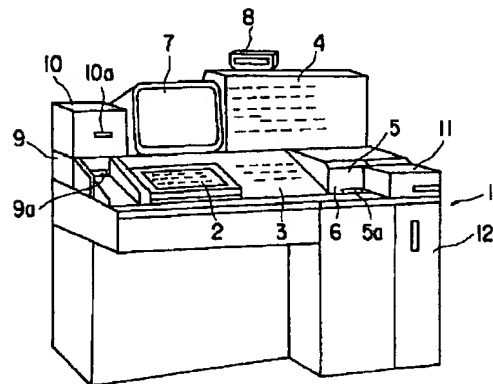
【符号の説明】

1…定期券発行機、2…表示入力部、3…条件設定部、
4…乗車区間設定部、5…氏名転写部、6…申込み用紙
読取部、7…CRT表示部、8…客用表示器、9…定期
券発行部。

【図1】

71	72
通勤 大人 3ヶ月 No.000001	氏名 山田 太郎
東京 → 川崎	住所
経路 —	電話 ()
期間 平成5年4月1日	勤務先
より	電話 ()
平成5年6月30日	区間 東京 → 川崎
運賃 ¥XXXXXX円	経路
	(通勤) ・ 通学
	(大人) ・ 小人
	期間 平成5年4月1日より
	平成5年6月30日まで

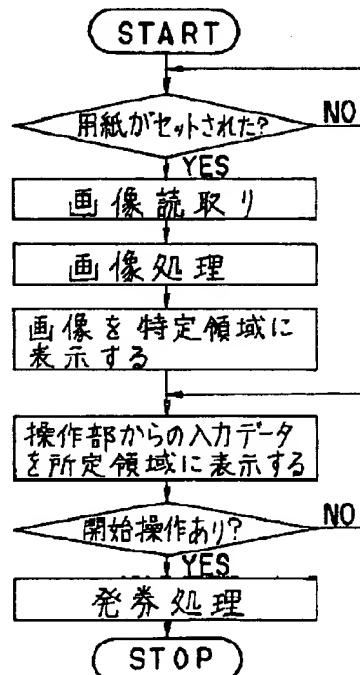
【図2】



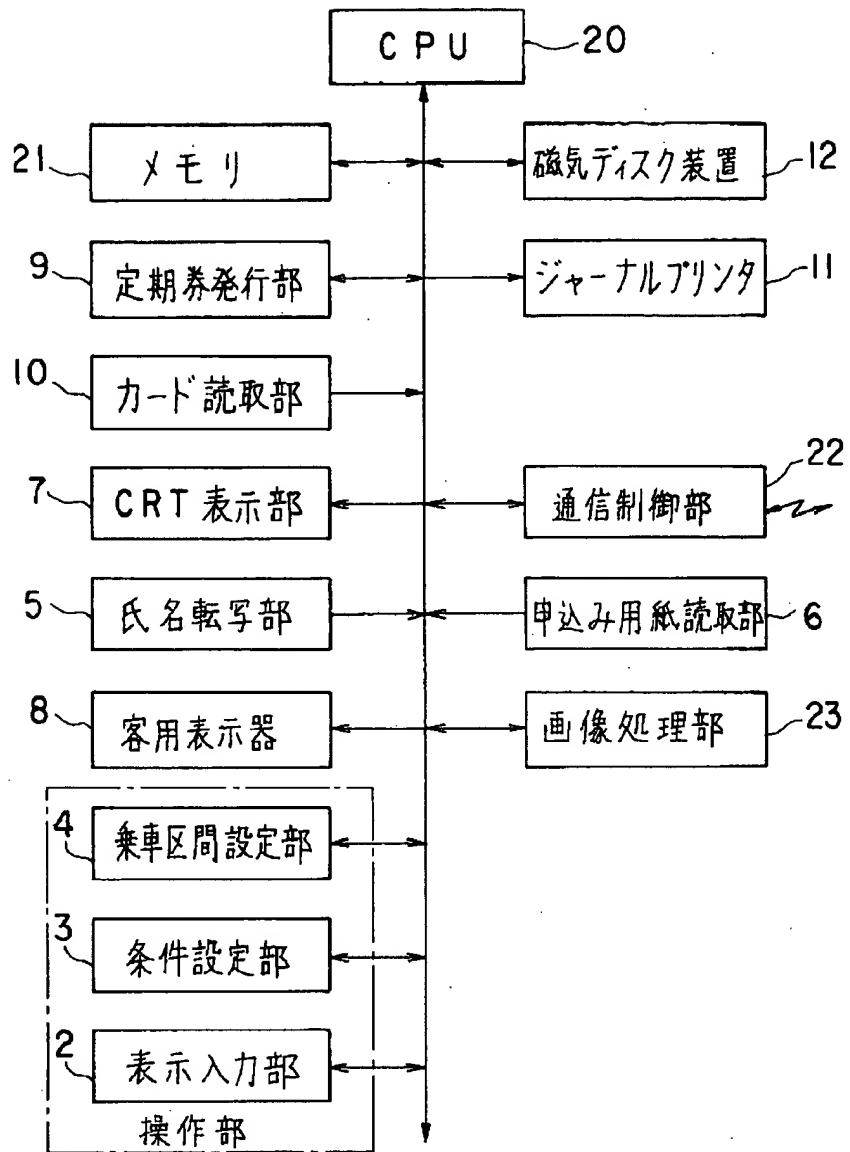
【図4】

氏名 山田 太郎	30
住所	
電話 ()	
勤務先	
電話 ()	
区間 東京 → 川崎	
経路	
(通勤) 通学	
(大人) 小人	
期間 平成5年4月1日より	
平成5年6月30日まで	

【図5】



【図3】



This Page Blank (uspto)